

福岡県の最近の経済動向

(数値は2019年12月時点の公表値を参照)

福岡県の景気 | 緩やかな回復基調にある

福岡県の景気は、生産活動は一部弱さがみられるものの高水準で推移しており、個人消費は底堅く推移しています。総じてみると、緩やかな回復基調にあります。

(二宮 彬)

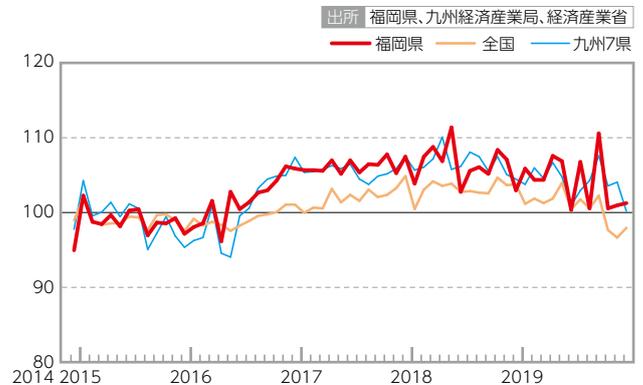
1. 生産活動 | 一部弱さがみられるものの、高水準で推移

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比0.3%増の102.2となりました。

主要業種では「食料品・たばこ工業」が上昇しましたが、「輸送機械工業」「はん用・生産用機械工業」「鉄鋼業」が低下となりました。「鉄鋼業」については3ヵ月連続で低下しています。

指数は前月を上回り、全体としては、一部弱さがみられるものの、高水準で推移しています。

■福岡県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



2. 個人消費 | 底堅く推移

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.6%減の約706億円となり、3ヵ月連続で前年を下回りました。

また、新車登録台数や、コンビニエンスストア販売額は、それぞれ前年同月比10.9%減の11,845台、同1.0%増の約454億円となりました。

全体としては、底堅く推移しています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■福岡県の新車登録台数(前年比)





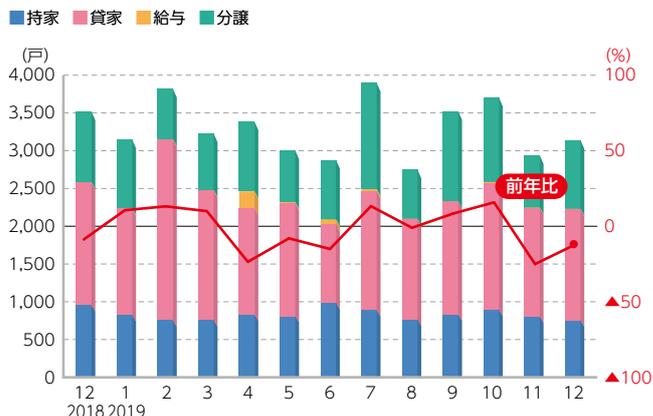
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比11.5%減の3,164戸となりました。

「分譲」「貸家」「給与」「持家」全てで前年を下回り、全体では、2ヵ月連続で前年を下回りました。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比0.6%増の約316億円となりました。

発注者別では、「国」「県」「市町村」「独立行政法人等」全てで前年を下回りましたが、「その他」が前年を上回り、全体では、2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

福岡県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は2ヵ月連続で前年を上回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比20件増の42件、負債総額が同353.3%増の約50億円となりました。

負債総額は2ヵ月連続で前年を上回りました。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

(数値は2019年12月時点の公表値を参照)

熊本県の景気 | 緩やかな回復基調にある

熊本県の景気は、生産活動は高水準で推移し、個人消費も底堅く推移しています。総じてみると、緩やかな回復基調にあります。

(二宮 彬)

1. 生産活動 | 高水準で推移

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比8.0%低下の114.3となりました。

主要業種では、「はん用・生産用機械工業」「電子部品・デバイス工業」「輸送機械工業」「食料品・たばこ工業」全てが低下しました。「電子部品・デバイス工業」については4ヵ月連続で低下しています。

指数は4ヵ月連続で低下しましたが、全体としては高水準にて推移しています。

■熊本県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



2. 個人消費 | 底堅く推移

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.7%減の約178億円となり、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

また、新車登録台数は前年同月比11.5%減の4,195台、コンビニエンスストア販売額は同0.6%減の約147億円となりました。

全体としては、底堅く推移しています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■熊本県の新車登録台数(前年比)



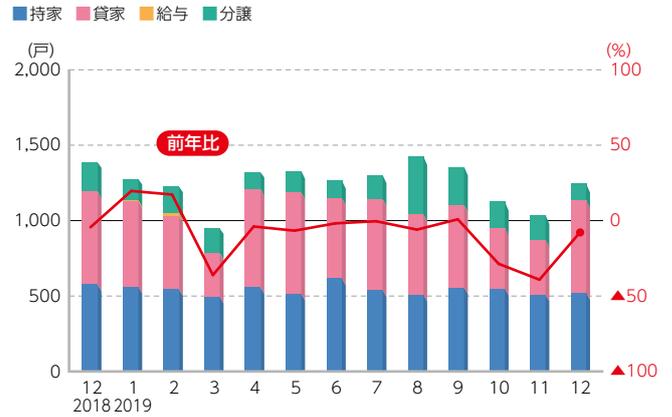
3.住宅建設 | 10ヵ月連続で前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比10.6%減の1,252戸となりました。

「給与」は横ばいでしたが、「分譲」「貸家」「持家」3つの項目で前年を下回り、全体では、10ヵ月連続で前年を下回りました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



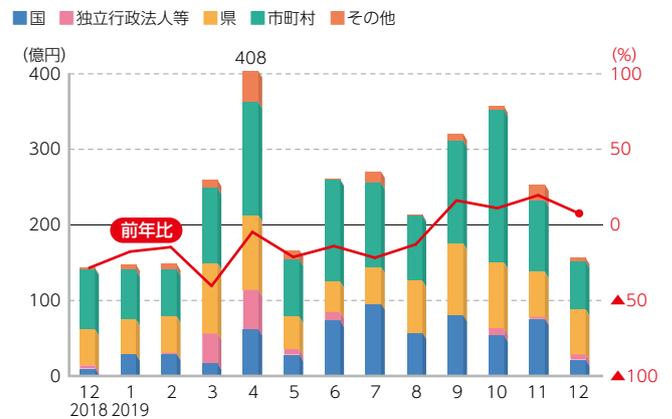
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、請負金額が同10.1%増の約160億円となりました。

発注者別では「国」「県」「独立行政法人等」が前年を上回り、「市町村」が前年を下回りましたが、全体では、4ヵ月連続で前年を上回りました。

■熊本県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は3ヵ月連続で前年を上回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2件増の7件、負債総額が同157.5%増の約52.4億円となりました。

負債総額は3ヵ月連続で前年を上回りました。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

(数値は2019年12月時点の公表値を参照)

長崎県の景気 | 弱さがみられるものの緩やかな回復基調にある

長崎県の景気は、生産活動は持ち直しにも一服感のある動きをしており、個人消費は底堅く推移しています。総じてみると、弱さがみられるものの緩やかな回復基調にあります。

(二宮 彬)

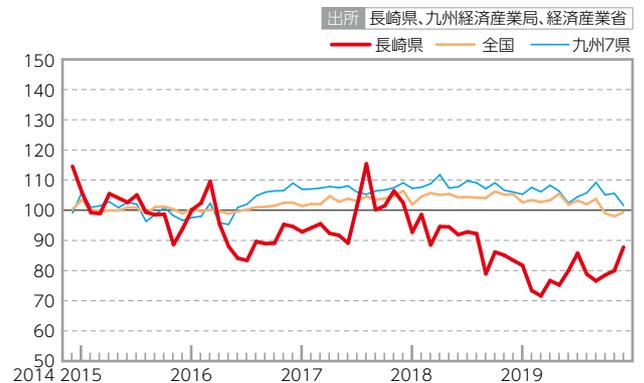
1. 生産活動 | 持ち直しにも一服感

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比9.5%上昇の87.7となりました。

主要業種では「輸送機械工業」が低下しましたが、「はん用・生産用機械工業」「電子部品・デバイス工業」「食料品工業」が上昇しました。「はん用・生産用機械工業」については4ヵ月連続で上昇、「輸送機械工業」については5ヵ月連続で低下しています。

総合指数は3ヵ月連続で上昇しましたが、全体としては持ち直しにも一服感のある動きをしています。

■長崎県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



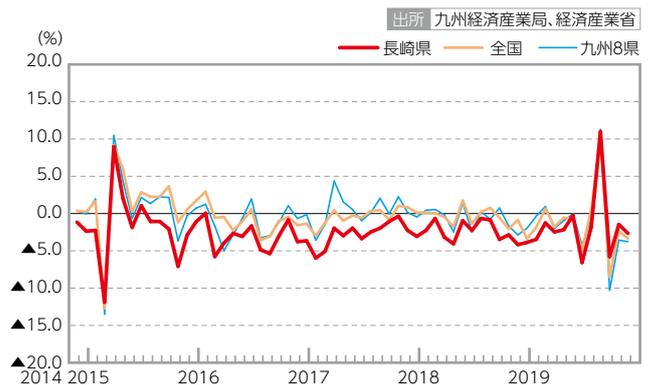
2. 個人消費 | 底堅く推移

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.3%減の約110億円となり、3ヵ月連続で前年を下回りました。

新車登録台数は、前年同月比15.5%減の2,659台となりましたが、コンビニエンスストア販売額は、同0.6%減の約96億円となりました。

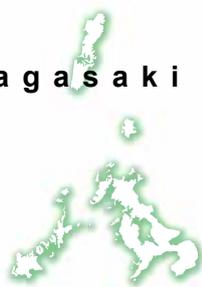
全体としては、底堅く推移しています。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■長崎県の新車登録台数(前年比)





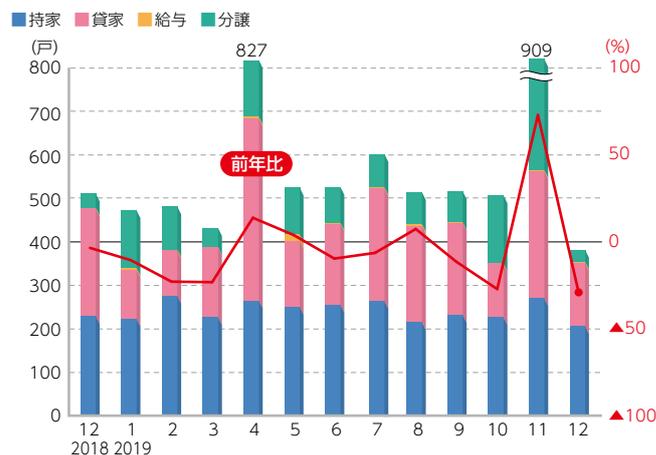
3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比24.8%減の388戸となりました。

「給与」が前年を上回りましたが、「持家」「貸家」「分譲」は前年を下回り、全体では、2カ月ぶりに前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



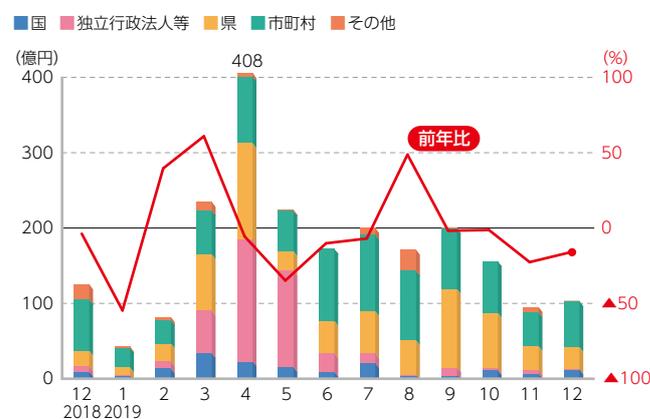
4.公共工事 | 4カ月連続で前年を下回る

12月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比17.3%減の約105億円となりました。

発注者別では、「国」「県」は前年を上回りますが、「市町村」「独立行政法人等」などが、前年を下回り、全体では、4カ月連続で前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



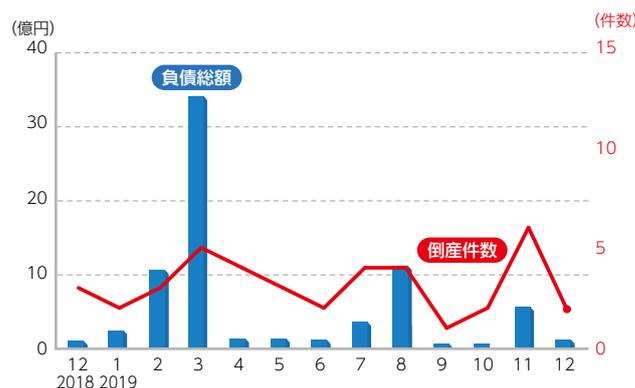
5.企業倒産 | 負債総額は4カ月ぶりに前年を上回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比1件減の2件、負債総額が同19.0%減の約1.3億円となりました。

負債総額は4カ月ぶりに前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

(数値は2019年12月時点の公表値を参照)

佐賀県の景気 | 一部弱さがみられるものの、緩やかな回復基調にある

佐賀県の景気は、生産活動は持ち直しの動きがみられるものの、個人消費は足踏みの状態にあります。総じて見ると、一部弱さがみられるものの、緩やかな回復基調にあります。

(二宮 彬)

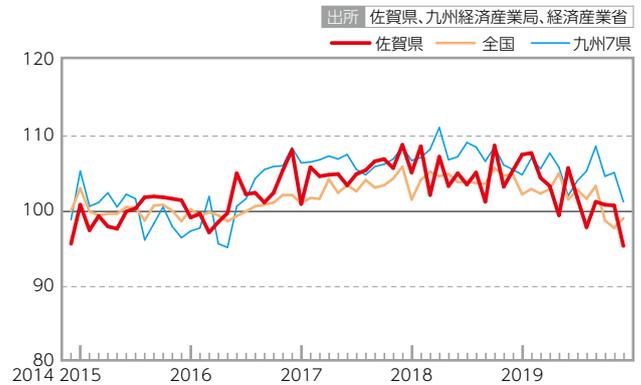
1. 生産活動 | 持ち直しの動き

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比5.4%低下の95.2となりました。

主要業種では、「電子部品・デバイス工業」が上昇しましたが、「化学工業」「食料品工業」「電気機械工業」は低下しました。

指数は前月を下回りましたが、全体としては、持ち直しの動きがみられます。

■佐賀県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



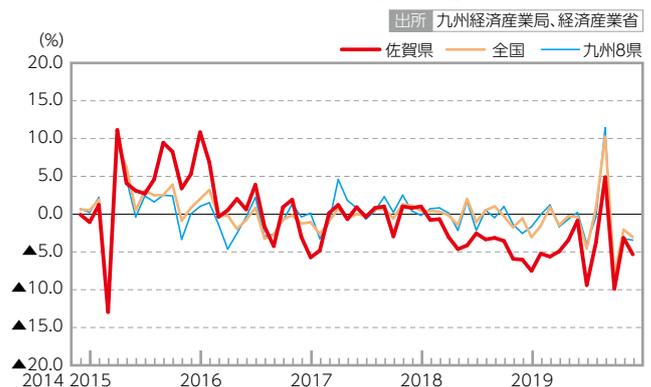
2. 個人消費 | 足踏みの状態

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比5.3%減の約63億円となり、3ヵ月連続で前年を下回りました。

また、新車登録台数も、前年同月比11.9%減の1,982台となりましたが、コンビニエンスストア販売額は、同0.1%減の約69億円となりました。

全体としては、足踏みの状態にあります。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■佐賀県の新車登録台数(前年比)





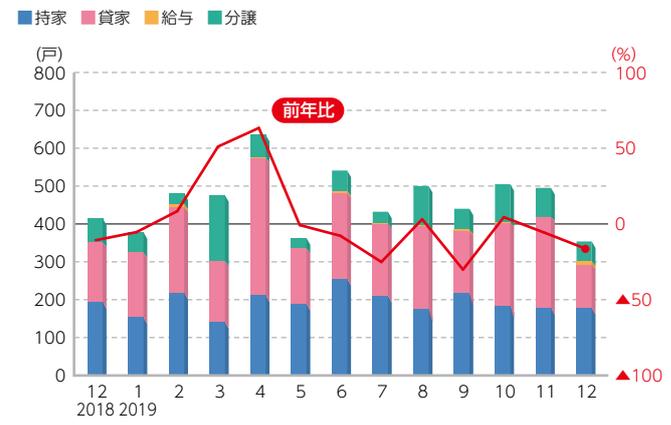
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比14.3%減の361戸となりました。

「給与」は前年を上回ったものの「持家」「貸家」「分譲」は前年を下回り、全体では、2ヵ月連続で前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



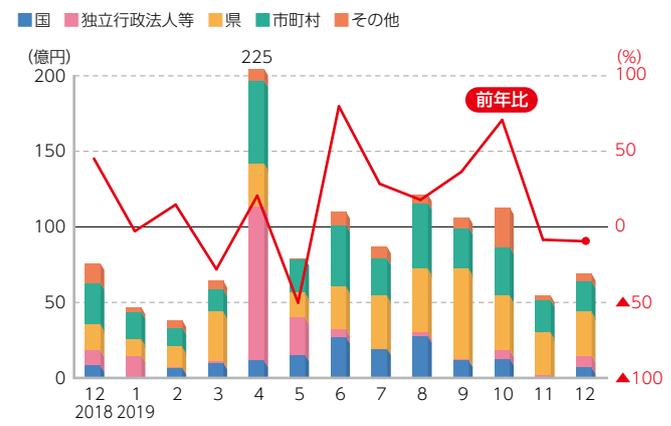
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

12月の公共工事保証請負状況は、請負金額が同8.5%減の約70億円となりました。

発注者別では、「県」は前年を上回りましたが、「国」「市町村」「独立行政法人等」が前年を下回り、全体では、2ヵ月連続で前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



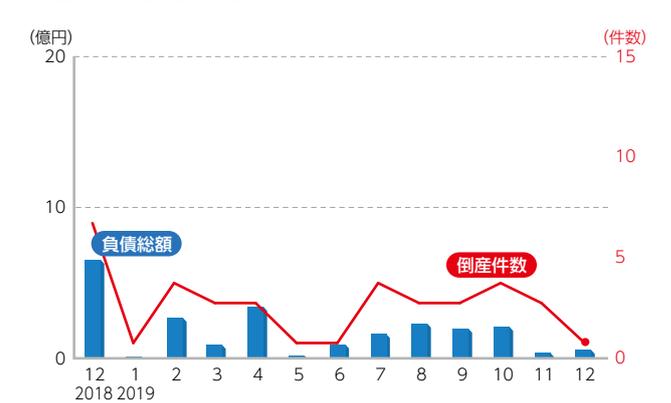
5.企業倒産 | 負債総額は2ヵ月連続で前年を下回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比6件減の1件、負債総額が同90.9%減の約6000万円となりました。

負債総額は2ヵ月連続で前年を下回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

(数値は2019年12月時点の公表値を参照)

大分県の景気 | 弱さがみられるものの、回復基調にある

大分県の景気は、生産活動は横ばい圏内にあるものの、個人消費は底堅く推移しています。総じて見ると、弱さがみられるものの、回復基調にあります。

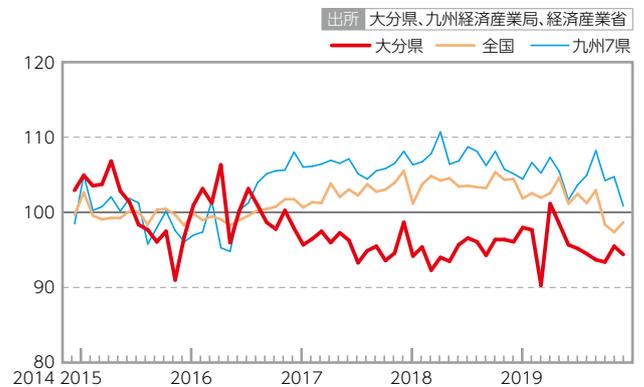
(二宮 彬)

1. 生産活動 | 横ばい圏内で推移

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比1.1%低下の94.6となり、主要業種では、「はん用・生産用・業務用機械工業」が低下しましたが、「電子部品・デバイス工業」「鉄鋼業」「化学・石油製品工業」は上昇しました。

指数は前月を下回りましたが、全体としては、横ばい圏内で推移しています。

■大分県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



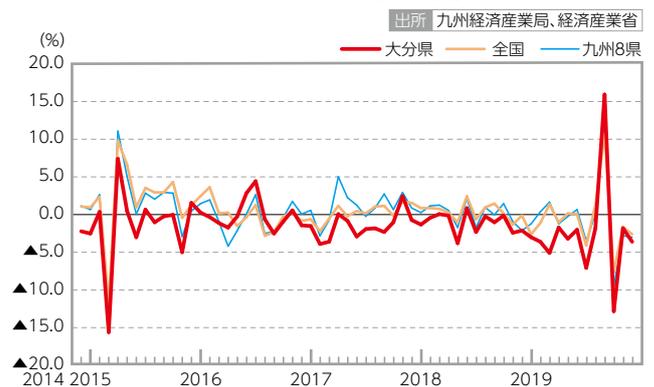
2. 個人消費 | 底堅く推移

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.0%減の約117億円となり、3ヵ月連続で前年を下回りました。

また、新車登録台数も、前年同月比5.8%減の3,043台となり、コンビニエンスストア販売額は、同0.1%減の約91億円となりました。

全体としては底堅く推移しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■大分県の新車登録台数(前年比)





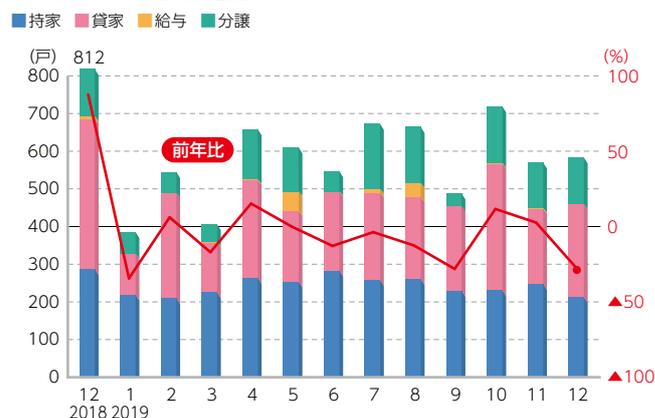
3.住宅建設 | 3カ月ぶりに前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比27.0%減の593戸となりました。

「分譲」は前年同月を上回りましたが、「貸家」「持家」「給与」は下回り、全体では、3カ月ぶりに前年を下回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



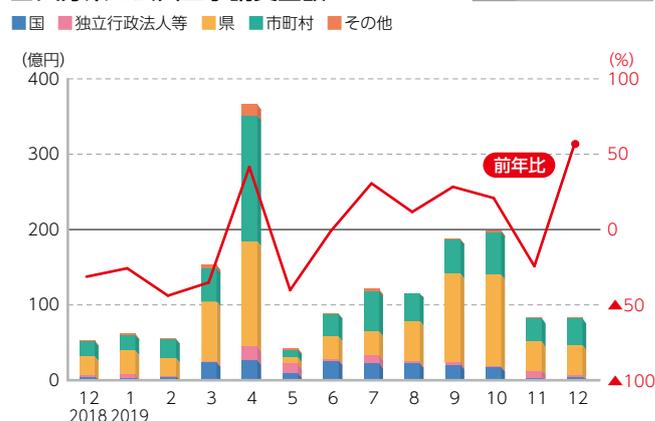
4.公共工事 | 2カ月ぶりに前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比57.3%増の約84億円となりました。

発注者別では、「国」が前年を下回りましたが、「県」「市町村」「独立行政法人等」が前年を上回り、全体では、2カ月ぶりに前年を上回りました。

■大分県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



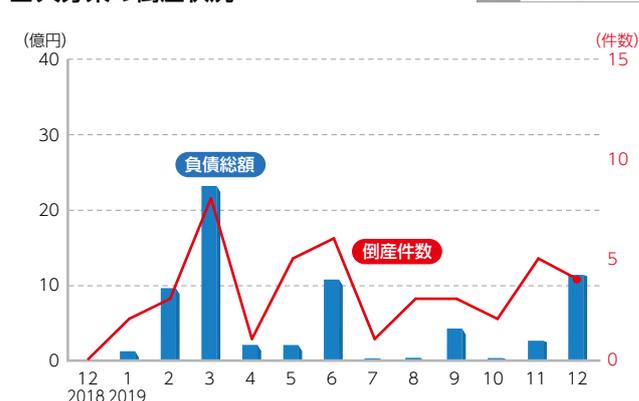
5.企業倒産 | 負債総額は3カ月ぶりに前年を上回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比4件増の4件、負債総額は11.6億円となりました。

負債総額は3カ月ぶりに前年を上回りました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

(数値は2019年12月時点の公表値を参照)

宮崎県の景気 | 弱さがみられるものの、回復基調にある

宮崎県の景気は、生産活動は横ばい圏内にあるものの、個人消費は底堅く推移しています。総じて見ると、弱さがみられるものの、回復基調にあります。

(二宮 彬)

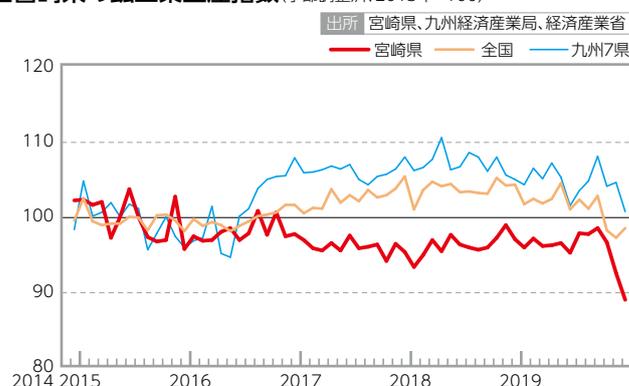
1. 生産活動 | 横ばい圏内で推移

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比3.9%低下の89.3となりました。

主要業種では、「化学工業」「電子部品・デバイス工業」「電気・情報通信機械」「食料品工業」全てが低下しました。

指数は前月を下回りましたが、全体としては横ばい圏内で推移しています。

■宮崎県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



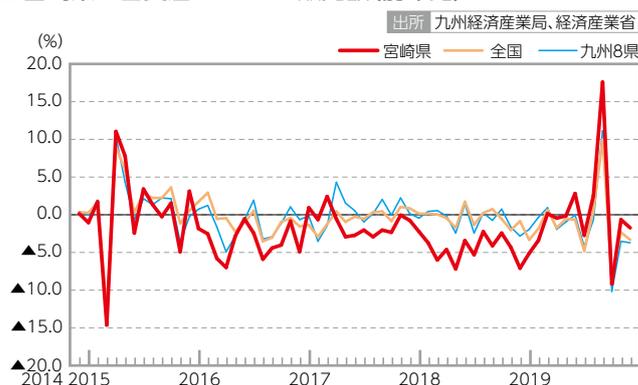
2. 個人消費 | 底堅く推移

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.4%減の約77億円となり、3ヵ月連続で下回りました。

また、新車登録台数や、コンビニエンスストア販売額も、それぞれ前年同月比14.1%減の2,504台、同0.2%減の約80.4億円となりました。

全体としては、底堅く推移しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■宮崎県の新車登録台数(前年比)





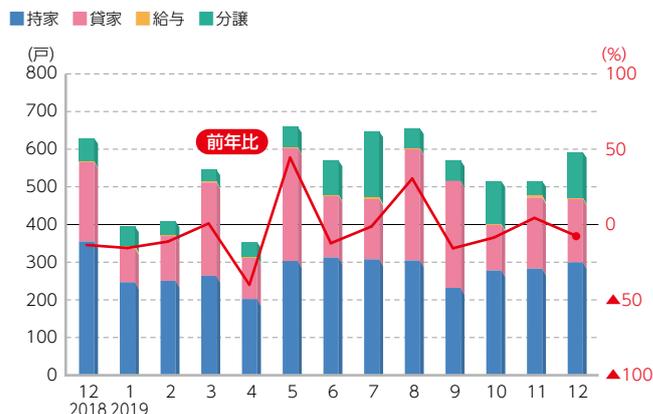
3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月6.9%減の590戸となりました。

「給与」「分譲」は前年同月を上回りましたが、「貸家」「持家」は下回り、全体では2カ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 3カ月連続で前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比43.3%増の約115億円となりました。

発注者別では「国」「独立行政法人等」が前年を下回りましたが、「県」「市町村」が前年を上回り、全体では、3カ月連続で前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



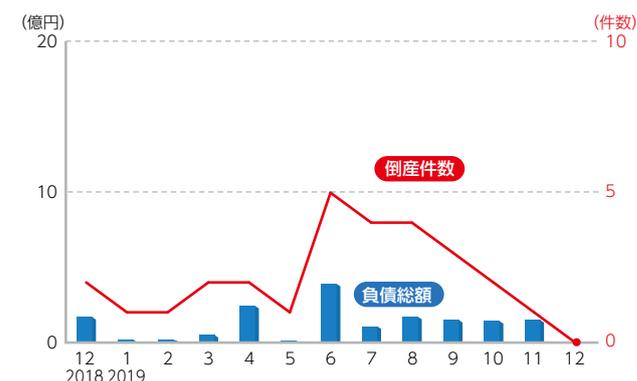
5.企業倒産 | 負債総額は3カ月連続で前年を下回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2件減の0件となりました。

負債総額は3カ月連続で前年を下回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

(数値は2019年12月時点の公表値を参照)

鹿児島県の景気 | 緩やかな回復基調にある

鹿児島県の景気は、生産活動は高水準で推移し、個人消費も底堅く推移しています。総じてみると、緩やかな回復基調にあります。

(二宮 彬)

1. 生産活動 | 高水準で推移

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比2.0%低下の104.9となり、業種別では「電子部品・デバイス工業」は上昇しましたが、「窯業・土石製品工業」「食料品工業」「電気・情報通信機械工業」は低下しました。

指数は前月を下回りましたが、全体としては、高水準で推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



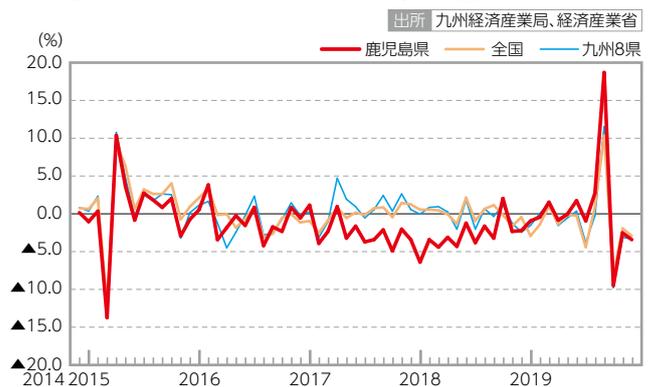
2. 個人消費 | 底堅く推移

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.5%減の約164億円となり3ヵ月連続で前年を下回りました。

一方で、新車登録台数は、前年同月比16.5%減の3,584台となりました。

全体としては、底堅く推移しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■鹿児島県の新車登録台数(前年比) 出所 日本自動車販売協会連合会 全国自動車協会連合会



3.住宅建設 | 6ヵ月連続で前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比0.5%減の832戸となりました。

「分譲」は前年同月を上回りましたが、「持家」「貸家」「給与」は前年を下回り、全体では、6ヵ月連続で前年を下回りました。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比34.4%増の約152億円となりました。

発注者別では、「市町村」が前年を下回りましたが、「国」「県」「独立行政法人等」などが前年を上回り、全体では、2ヵ月連続で前年を上回りました。

鹿児島県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は2ヵ月連続で前年を上回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比4件増の7件、負債総額が同90%増の約3.2億円となりました。

負債総額は2ヵ月連続で前年を上回りました。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

